三和新報
THE SANWASHIMPO

第397號　（昭和29年6月17日第三種郵便物認可）

日刊（日曜・祝・祭日を除く）　購読料1カ月50円

8月17日（水曜日）

発行所
三和新報社
平市田町
電1053番

内科・小児科
蓬來医院
平市新川町12・電1031

星は流れて六年間
同志結婚や市議当選
平事件いよいよ大詰

昭和二十四年六月三十日の事件発生から時は六年と二カ月流れ生か死かと殺気だつたあの当時の世相は百八十度回転し、ジャズやマンボ、スマートボールが巾をきかす時代になつた。移り変る世相の波にその二、三を拾つてみる。

▽平事件の被告のうちさる四月の選挙で市、町、村議員に当選し政治家として活躍している者が五名もいる。被告団長の鈴木磐夫氏（三二）と斎藤隆行氏（三三）熊田豊次氏（五〇）＝分離派＝はいずれも内郷市会のうるさ方で斎藤氏は最高点、鈴木磐夫さんは四位という高位でゆうゆう当選している事実は特に注目され議会内でも失業者救済など労働問題に敏腕をふるい熊田氏は副議長、三人とも内郷市会になくてはならない存在になつている。常磐には佐藤多美夫氏（三二）が議員になつて乗りこみ議会随一という雄弁でならしている。また好間には自由労組の闘将、穂積博光村議（三四）が活躍している。

▽法廷の片すみに咲いた恋として統一派の佐藤光明さん（三八）と木村ヒサ子さん（三五）は二十七年九月結婚、二人仲よく内郷市高野の失対現場で働らいていたが低賃金と時間の余裕がないため人並の甘い新婚気分にもひたられないうち二十八年七月長女規子ちゃんが生れ生活苦のためか、性格の相違か、今年の二月からヒサ子さんは実家に帰り別居生活、四月には長男の也寸志ちゃんも生れたが二人の別居生活はまだつづきそう。

▽行方不明のため判決ができないのは榊原光治被告（三七）と島幸次郎被告の二人、榊原被告は二十六年六月二十五日の開廷以来約五十回にわたつて出廷していたが証拠調べの段階に入つた二十七年七月十四日の裁判からプッツリと消息を絶ち死んだか生きているのかさっぱりわかつていない。島被告は事件発生と同時に地下にもぐり被告同志でも忘れた人が多い存在になつてしまつた。

主なる被告の求刑（昨年十月）

主なる被告の検事求刑（昨年十月十一、二日）は次の通り。

（注＝罪名中、騒－騒乱、職－職務強要、建－建造物侵入、強－強盗、公－公務執行妨害、銃－銃砲等所持禁止令違反）

鈴木　光雄（三〇）	騒、職、	八年
鈴木　磐夫（三二）	騒、建、職、	七年
日野　定利（四七）	騒、職、公、	同
村上　俊雄（三三）	騒、建、	同
金　明　福（三七）	同、	同
松木　佐吉（四三）	同、	六年
平子　正孝（二八）	騒、建、銃、	五年
長江　久雄（三八）	騒、建	三年
杉原　清（三三）	騒、建、	二年六月
金　龍　洙（四〇）	同	同
松木　勇（三三）	同	同
草野　直子（三五）	同	二年
利川　鎮吉（二九）	建、騒、公	同
大井川孝平（三〇）	騒、建	同
佐藤多美夫（三二）	同	同
小松シメ子（二九）	同	同
李　在　道（三六）	同	同
渡辺仙一郎（三八）	同	同
坂本　シサ（五五）	同	同
斉藤　隆行（三二）	同	同
星野　一二（四〇）	同	同
坂本津奈子（三三）	同	同
武藤　弘（二九）	同	一年六カ月
佐藤　輝雄（三二）	同	同
西原　新七（四四）	同	同
出沼　春男（三二）	同	同
志賀　ヤエ（三五）	同	同
鈴木　静（三三）	同	同
藁谷好太郎（三三）	同	一年
添田　計（三二）	同	同
木村ヒサ子（二五）	同	同
松村スイ子（二五）	同	同
佐藤　ウメ（三五）	同	同
松木ハルヨ（三四）	同	同
梅原　キヨ（二六）	同	同
木村　一章（三三）	同	十カ月
上津　源三（二九）	同	同
佐藤　光明（二七）	同	同
穂積　博光（三二）	同	四カ月

若き日の誤ち

平事件の判決は事件以来六年二カ月目のあす、平地裁山田裁判長によつて言いわたされる。この事件については

警察をマヒ状態に陥入れた重大事件だ

とする人たちと

労組が警察前で騒いだだけで少し世間が大げさに太鼓をたたきすぎる

とみる人たちがあるようだが、事件の真相については六年にわたり百八十六回の審理をかさねているので、裁判は慎重な事実審理にもとずき公正妥当な判決を下すものと信じられる。ただわれわれが、ここで考えさせられることは、被告の一人一人がいずれも善良な市民であるということである。当時の混乱した社会の未熟な労組運動の中に生きていた青年たちは「権力への反抗こそ新時代の思潮」でもあるかのような考えを抱きがちであつた。事実、戦争と反動にこり固まつていた日本を脱皮させ今日の民主々義時代を築き上げた一因はたしかに、こうした青年たちの「目覚め」に負うところが少くない。

このような過渡期にあつて、新しい時代の前衛を以て任じた労組員たちが、多少の挑発と煽動と感情に油をそそがれ、カツとなつてあのような集団的行動に出たことは、それがよし、許すべからざる罪であるとしても、一歩退いて考えれば戦後の混乱期という「時代の若さ」が生んだ—若き日の誤ちだつたと回想できないこともない。被告たちの胸の底をながれているものもおそらくはその悔恨ではなかろうか。このような情状を酌量し更生期にある被告たちやその家族の心情に思いをいたし、温情ある判決をのぞむものである。

被告こすっかり顔馴染み
あすの立役者 山田裁判長

騒乱罪を摘要するかどうか。無罪か、有罪か。百二名という日本裁判史上に例のない平事件の裁判長をつとめる山田瑞夫裁判長は仙台の産、地元の第二高等学校から東京帝大という秀才コースを進み、帝大在学中の昭和十一年十一月に高文に合格した。翌十二年三月帝大を卒業、同年の六月試補となつて司法畠に飛びこみ名古屋地検を経て十三年十二月福島地裁判事となつたがその後、名古屋、仙台など各地裁を歩き二十四年再び福島に戻つて平事件担当判事になり結審までの公判は百八十六回、証人二百六十名という文字通り大裁判の長として活躍、その温厚な人柄はうるさ方の多い被告も敬服しており裁く者と裁かれる者の楽しい笑いが法廷からきこえてくることもしばしばあつた。総論、主文あわせて五時間余という心血を注いだ判決をあすにして胸中を去来するものはなんであろうか。

1等〃長松とお玉どん〃（夢の家）
ゆうべ平の假装盆踊

平ぼん踊り最後を飾る仮装ぼん踊り大会は十六日夜、駅前ヤグラにそれぞれ趣好をこらした四十八組が参加して行われ珍芸、奇踊をひ露、観衆からヤンヤの声援をうけたが審査の結果、平市南町の夢の家が一位に当選した。入賞者次の通り。

▽一位＝長松どんとお玉どん（夢の家）▽二位一席＝花の講道館（三和新報社）▽二等二席＝弁慶と牛若丸（志賀正男）▽三等一席＝纒持（古河好間、梅宮輝夫ほか一名）▽三等二席＝アラビアンナイト（渡辺伊太郎）▽三等三席＝中山安兵衛（古河好間、菅野昇）▽四等二席＝白虎隊（十五丁目寿ほか三名）▽四等二席＝弥太郎笠（高木力）△四等三席＝春駒（宮本マサイ）▽四等四席＝弁慶（新井弘）▽四等五席＝大石良雄（松永義之助）

好間にも日脳（疑似）

昨報＝内郷市御殿採炭夫橋本竹二さん（三〇）の長男竹義ちゃん（五つ）は十五日、平保健所管内の日本脳炎第一号として隔離蔓延が心配されていたが十六日夜、好間村北好間字椎木平無職手塚みどりさん（三四）も日本脳炎の疑で隔離され平保健所では所員を動員して防疫に大童になつている。

報道陣二百名
街でひろったはなし

平事件公判を前に街でひろつたこぼればなし二つ三つ。

☆☆☆☆☆ お役人大サービス ☆☆☆☆☆

○…全日本の注目を集めている平市八幡小路の一角にそびえる地裁平支部では判決が終らぬうちは仕事も手につかないような忙しさ、当日山田裁判長の声がきこえないで一騒ぎあつては大変と判事、検事、弁護人席はもちろん天井からもマイクを吊して傍聴券をもらえぬ人に声の実況を贈ろうとサービスに大童。

☆☆☆☆☆ 新聞記者の街平 ☆☆☆☆☆

○…〃世紀の判決〃だけに平市には十五日ころからぞくぞくと報道陣が乗り込み当日は新聞記者、カメラマン、ニュース班などその数およそ二百名になろうという騒ぎ。ニュースカー、電送機など近代化学の粋を集めた報道用設備を駆使して一秒も早く電波にのせようとすでに花々しい報道合戦が展開されるので、当日は街のキャンデー屋のカネに混つて号外の鈴の音は乱れ飛ぶだろう。

☆☆☆☆☆ ハテなんとしよう ☆☆☆☆☆

○…判決に不服で再び騒乱事件が発生しては大変と県警は水野本部長、自ら乗り込んで警戒おさおさ怠たりないがあまり警戒を厳重にしすぎて被告を刺戟してはまずいされぱといつて傍観の態勢では心もとない、はてヘイタイを表面にだすべきか地下にもぐらせるべきか、と一ト思案。

☆☆☆☆☆ お手やわらかに ☆☆☆☆☆

○…Mの方が強いような女性被告だが最大の苦手はカメラのフラッシュ、求刑の時は黄色い声で「バカツ、早くやめろ、見世物ではねえぞ」「写真屋マブシくて目がつぶれる、このオタンコナス」とカメラマンたちさんざん罵倒され〃平の女性はすげえや—〃とコボしていたが、こんどはこれ以上の集中攻撃はたしかときき、耳に綿を入れてパチパチやる準備。

☆☆☆☆☆ 無罪あるのみ ☆☆☆☆☆

○…公判延期申請を却下された竹沢主任弁護士が十五日姿をみせ「一人でも有罪の判決があつたら国民の激しい批判をうけるだろう」と相変らず無罪の強い信念を吐露していたが無罪を証明するためにも全部の被告を出廷させなければならない」と鈴木磐夫被告団長とともに「全員出廷して無罪を証明せよ」と呼びかけている。

眼をなぐる

常磐市上湯長谷字長倉七二採炭夫飯塚藤太郎（三〇）は十五日午後八時三十分ころ同市上町マドリカルダンスホール前を通行中の同市天王崎機電係岩尾修吉さん（三三）の左眼をなぐり二週間の傷を与え現行犯で常磐署に捕つた。

レール四本失敬

常磐市湯本字山ノ神九一無職佐藤光康（三六）は十六日午前〇時半ころ常磐炭鉱磐崎鉱機電倉庫からレール四本（六千円相当）を盗み現行犯で常磐署に捕つた。

スリも横行

十六日夜、平駅前で行われた仮装ぼん踊大会にはおよそ五萬の見物人が押しかけたが人混みを狙つてスリが横行、正月町鉄道工夫深谷寛さん（三三）は現金九百円、内郷市宮町無職吉田陽子さん（一九）は千円また旧城跡、公吏新妻芳保さん（六五）は三千五百円相当の懐中時計を盗まれたほか四件のスリ被害があつた。

ミシンはハツピイ
縫の小山で

ボヤ

十七日午前十時五十五分ごろ平市田町食堂「玉半」方二階にほしてあつたランニングシヤツが風で隣の食堂「満腹」の間に落ちて燃え出したがすぐ消えた。繁華街のため一時は大騒ぎとなつた。シャツが何でもえ出したか消防署と平署で調べている。

「鈴勘」荒しの共犯挙る

平署では十七日常磐市湯本生れ無職若松茂（三四）を臓物故買の疑いで身柄送検した。四月、平市一丁目洋品店「鈴勘」を荒した犯人、加藤政一からズボン二着七千円相当を千四百円で買つたもので、去る九日スリ現行犯で東京大井署に逮捕、手配中のものと判り身柄を送られてきたものである。

志賀子之松氏（土建業）

は病気療養中だつたが十七日午前十時平市四軒町の自宅で死去した享年五十五才、氏は磐城土木建築業界の重鎮として知られていた。なお葬儀は二十日午後一時菩提院で行う

パンは
開花亭
平市五丁目
電三四二

小火御見舞御礼

十七日の小火の際は早速お駈付下され消火に御盡力を賜わり且つ御見舞を辱うし誠に有難うございました。混雑中御尊名お伺い洩れあることと存じ略儀乍ら紙上を以つて厚く御禮申上げます

玉半
平市田町　電一四〇七番

小火御見舞御礼

十七日の小火の際は早速お駈付下され消火に御盡力を賜わり且つ御見舞を辱うし誠に有難うございました。混雑中御尊名お伺い洩れあることと存じ略儀乍ら紙上を以つて厚く御禮申上げます

満腹
平市三田小路　電二二二〇番

近火御見舞御礼

十七日近火の際は早速お駈付下され消火に御尽力賜わり且つ御見舞を辱うし誠に有難うございました。混雑中御尊名お伺い洩れあることと存じ略儀乍ら紙上をもつて厚く御礼申上げます

家具のデパート
あるが
平市銀座街　電二二三番

近火御見舞御礼

十七日近火の際は早速お駈付下され消火に御尽力賜わり且つ御見舞を辱うし誠に有難うございました。混雑中御尊名お伺い洩れあることと存じ略儀乍ら紙上をもつて厚く御礼申上げます

スマートボール
王将
平市三丁目

近火御見舞御礼

平パチンコ
平市三田小路　電六二四番

寿司
蛇の目
平市三田小路　電一二八三番

百合
平市三十米通り　電一八一七

靴と運動具
大塚
平市三十米通り　電七七番

藤越
平市銀座街　電一二八〇番

阿部薬舗
平市銀座街　電一七四〇番

株式会社
大丸
平市三丁目　電八九八番

日本交通公社平案内所
平市三丁目　電一〇三五番

〃湯本心中くどき〃

安政三年ころの湯本の流行歌

財産区会の中山氏所蔵

湯本温泉は十二代景行天皇の御代に発見されたと伝えられ、拾遺集の中によみ人知らずで「あかずしてわかれし人のすむさとは三函の見ゆる山のあなたか」という古歌があり、その他万葉集などにも詠まれているといわれるが、はやりうたは余り宣伝されず古老の中にも知つている人が稀だ。

市役所財産区会の中山氏が所蔵している昭和十三年十月二十日発行の「磐城史談」という郷土研究誌の中に「湯本心中くどき」という安政三年ころ読売瓦版によつて売られたのではないかという次のようなはやりうたがあり珍重がられている。

◇恋のサアエ、おもいを身に奥州や、磐城ならねばゆききの人が、あしをとどむる湯本の宿に、さてもあわれな心中ばなし、男いづくと尋ねてきけば、生れ故郷は越後の柴田、酒やとうじでその名は政次、いとけなきよりくにをば出で て、こゝやかしこに年月常陸、水戸に来りてしばしの間、足をとどめていつとせあまり、去年の七月水戸をば立て、いづくあてども身は定めなき、大津や平潟浜を、よそにみなして勿来の関に、散るや桜の入あい近き、やどりいそげば心も関田、上遠野しるしのにしき木ならで、みちの久保田に氷りし水の、とけてわかれて末大島に、ながれゆくのはわが身の植田、つづく新田湯長谷越えて、行手はるかにあおげば高き、夕日まばゆく赤井の岳を、よそにみなして湯本の宿に、やどりもとめる鞠屋の二階、これも旅路のうさばらしかよ ひとつ二つとかさねし酒の、かずもつもりてほろよいきげん、あいてほしやのなぞかけことば、それと番頭さん心得て、いたず相手はこの家の小梅、年は一八のつぼみの花も、開く愛嬌こぼるるばかり そこで政次もついはまりこみ、今日も明日もといつづけすれば、かねてみじかきよろうもつきて、今はせんかたなくわかれ、小名の浜にてしるべをもとめ、酒やはたらきするそのうさも、わすれかねたる小梅が姿、まがなすきがな湯本の宿へ、かようかようがたびかさなりて、末は主人のかわせのかねや、ともこほおばいみな借りつくし、人もおもわく主人のしゆびも、あしくならゆく身のふしあわせ、主人がたよりいとまもいでて何とせんかたなぎさの舟の、つなぎとまらぬ心のこまや、つとめする身も恋路の道は、おなじ思いの小梅が心、しよてはつとめであいそめたれど、末はたがいについ深くなり、櫛やこうがいかんざしまでもみんな政次にいれあげまして、外の客をもそまつにすれば、これも同じくおへやえふしゆび、つどの意見も空吹く風よ、せけばせくほど募るが恋路、無理なしゆびして揚やの二階、忍びあう夜のむつごとさえも、もれて聞ゆるおへやの耳に、とてもただではやむまいほどに、ことのなきうちくらがえさんせ、なれど今年は余日もあらず一夜あけなば相談せんとないしよ話を聞きとる小梅、かねて覚悟もまた今更に、聞けば驚くわが胸のうちヤンレイ。

（湯本心中くどき上）

松カ岡フンスイ完成

再び消防が管理

松カ岡公園のときわ亭前の池は十四五年前まで消防団が管理していたが、戦争になつてから放任状態となり荒れるにまかせていたので、今年から再び平消防団が手入れや管理をすることになり、早速名物のフンスイを改修、噴上げ口にはカマヤ諸橋家の中庭にあつた唐金の亀の子の寄贈をうけこのほど取付けを完了した。

来月、五市の親善卓球大会

福島、郡山、若松、平、白河の五市々役所親善卓球大会は九月十、十一の両日、平市公会堂に各市代表男女六十名の選手が集つて開き団体はリーグ戦、個人はトーナメントで熱戦を展開する。

衛生管理者試験講習会

平地方の衛生管理者試験は三十日午前八時から労働会館で行われるが平労基署では廿六、七の両日、市公会堂で受験者のため準備講習会を行う。

ハワイの警察

〇…常磐署の南側に青々としたバナナの木が二本いつのまにやらニヨキニヨキはえた。「バナナの木があるのはハワイの警察署くらいじやろう」と栗田署長、鼻をピクピクさせ「あすこにはね、噴水をつくるんじや、どうじやこの朝顔は素晴らしいじやろう根は一本なんじや」と次から次と御自分で丹精こめてつくつた色々な草花の御披露におよび、さてそれからニツコリ笑い「どうじやこの金魚は可愛いじやろう」なんてこんどはメンコイ金魚の話にとび、いやはや全くつきるところをしらず。

怖くないユウレイ

〇…常磐市の村上部長、残暑きびしくてたまらんというので氷水をのみのみ「幽霊を語る会」をひらいたところ、いやはやでるわでるわ三十いくつもとびだしたがどれもこれもみんな口からでまかせのいいかげんのものなので怖がるどころか爆笑ばかり、涼しい筈が汗ダクダクという結果に終り氷水代をしこたまソンしたという。

さびれる湯本盆踊

〇…市観音山のお祭りに芸者さんが百人も特別参加して盆踊りを行つたのに踊子はさつぱりふえない。なんだかしらないが踊り子は毎年へつてくる傾向にあるといわれ磐城盆踊りのどこかに欠陥があるため魅力がないのではないかという人もあり盆が終つたら、みんなで検討せねばなるまい。

内郷署次席の〃メッカチ靴〃

〇…内郷署の次席さん、せつせと靴をみがいているので「外出ですか」ときいたら「なんじやらホイ靴にだつてあんた、お化粧してやらにやならんよ」なんてブラシをかけ「醜女ほど念入りにおシヤレするじやろうが、全く苦労するよこのメツカチ靴には」なんておつしやいましたが、メツカチの靴なんてものにお目にかかつたことがありますか。

本田さんヒゲとおわかれ

〇…常磐市商工会議所の本田専務さんの鼻下に鎮座していたチヨビヒゲがいつのまにやらなくなつてしまつたので「どうしたの」と聞いてみたところ「どうも常磐市の商人さんでヒゲをおたてになつているお方がいないんでおつぱずかしい」といい「郷に入つては郷にしたがえでおヒゲのない世界にきたらやつぱりおヒゲをとらにやー」というワケで三十年間いとしんだおヒゲさまに泣きの涙でお別れあそばされたんだとか。いや殊性な心がけでウレシイデスな。

怖るべき思想

〇…某商店のダンナが「どうも常磐市にはヒトがいない」というから「人口四萬ですよ」といつたら「そりやそうだけど、ほんとに気がきかないヒトばつかりじや」と御憤慨「そういえばそうですね」と合槌をうつたら得たりとばかりダンナさん「四十以上の古株はみんなさつさと亡者になつてしまえばせいせいするんです」とは一寸危険思想ではないんでしようか。

今晩の映画（七―三）

◇聚楽館　赤いカンナに花咲けば　ひとり寝る夜の小夏（七、〇〇）
◇世界館　弥次喜多平珍道中　リオの情熱　娘の人生案内（六、〇〇）
◇平　館　お俊捕物帖　地獄の接吻（六、四〇）
◇ひかり座（一六―二二）不良少女モニカ　死斗の丘（七、〇七）
◇東　映　母水仙・牡丹燈籠（七、一五）
◇民　劇（十六―二〇）大平原　黒い絨氈（六、二五）
◇第二いわき（一五―一七）振袖侠艶録　火の驀走（六、三五）
◇磐映劇（十七―二〇）木その風来坊　現金に手を出すな（七、〇〇）

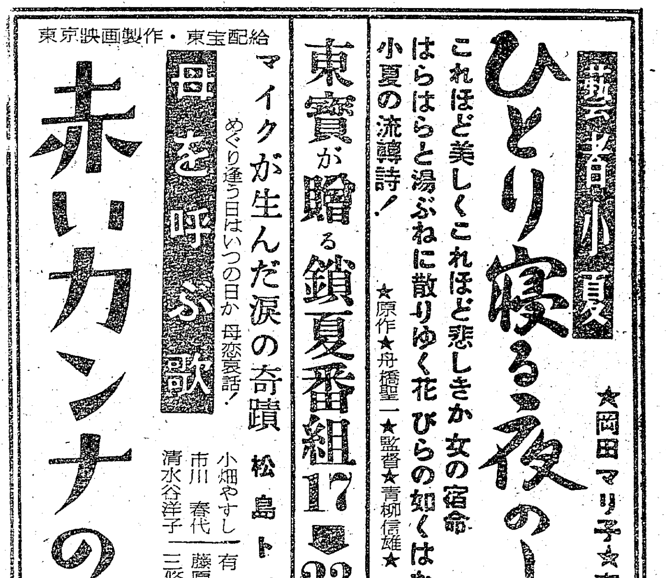
①映画題名は上映順
②上映時間は夜の部

祖國印
地下足袋
運動靴
長靴
袋屋本店

観光銘菓
桃の井
金沢屋

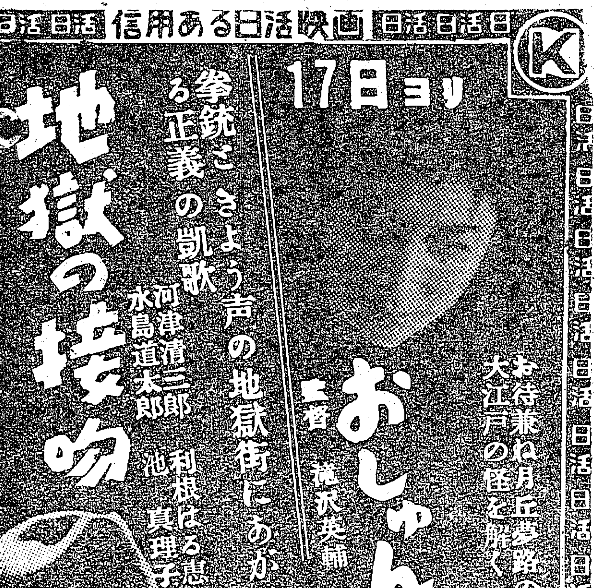
愈々十七日封切
彌次喜多たいら珍道中
平市一流商店がはじめてスクリーンに登場する！平市内外を堂々十余日にわたり長期ロケーションした郷土の映画！
市内外の名所旧蹟が全部現われます
のんき者の弥次喜多が平市に現われ平市せましとあばれまくる爆笑の珍道中！さて、あなたはどこに？どの場面に登場しているでしようか？お家族づれでゼヒ！

映画は大映
17→23日
南米ブラジルへ長期ロケ！
リオの情熱
眞紅の情熱に結ばれた南米空路
新東寶が放つ國際ロマンス特作
大木實　藤田進　安西郷子　木暮實千代
新東宝恋愛超特作
全國のお嬢さん、あなたがお母さんとつれだつてご覧になれる映畫ができました！
娘の人生案内
根上淳　南田洋子　市川和子　近藤美恵子　川上康子　品川隆二　志村喬
世界館



芸者小夏
ひとり寝る夜の小夏
これほど美しくこれほど悲しきか女の宿命
はらはらと湯ぶねに散りゆく花びらの如くはかない小夏の流轉詩！
★原作★舟橋聖一★監督★青柳信雄★
★岡田マリ子★志村喬★森繁久彌
東宝映画
東京映画製作・東宝配給
東寶が贈る鎖夏番組17→23日
母を呼ぶ歌
マイクが生んだ涙の奇蹟　松島トモ子
めぐり逢う日はいつの日か　母恋哀話！
小畑やすし　市川春代　清水谷洋子　有田稔　藤原釜足　三條美紀
赤いカンナの花咲けば
聚樂館

東映
17日ヨリ
母水仙
湖水にうつす恋姿、あおき光の母波さわぐ、切ない愛の心を描いて感動無限の女性名篇！
三浦光子　園ゆき子　松島トモ子（新人）　折原啓子　東宮秀樹（岩井一雄改め）
怪談　牡丹燈籠
恋に焦れて死んだお露の亡霊が、毎夜くりかえす牡丹燈ろの怪異!!
東千代之介　田代百合子　浦里はるみ　山口勇　杉狂児
東映劇場



日活日活　信用ある日活映画　日活日活日
Ⓚ
17日ヨリ
お待兼ね月丘夢路のおしゆん　大江戸の怪を解く一番手柄の凄艶さ
監督　滝沢英輔
おしゆん捕物帖　謎の尼御殿
月丘夢路　北原三枝　南寿美子　菅井一郎　三國連太郎
拳銃さきよう声の地獄街にあがる正義の凱歌
地獄の接吻
河津清三郎　水島道太郎　利根はる恵　池真理子
平館